

2016入間台夏祭り 盛大に無事終わる

花火の輪、子ども達が線香花火で遊ぶ

心配された雨もなく例年になく涼しいなかで、入間台納涼夏祭りは、去る7月23日(土)午後1時に「開催台図」の花火を打ち上げ、午後4時30分から子ども達のみこし巡行を皮きりに夏祭りが始まりました。午後8時40分には、予定通り全てのプログラムが終了し、盛会裏の中に終了することができました。今年も里帰りの子ども達も含めて人出が多かったようです。なお、抽選券・粗品等を受付にて350世帯程が交換されました。

開催にあたりまして、『夏祭り実行委員会』の下、班長さんをはじめ、ことぶき会、自治会をサポートする会、子ども会・育成会、おきらくクラブ、各サークルの皆さん等の多大なるご協力のもと開催することが出来た事を心からお礼申し上げます。また、ご多忙のところ、田中市長、斎藤県議、金子市議、山岡入間市連合区長会長にお越しいただきお礼申し上げます。

◆新久ばやし保存会のみなさんありがとう

新久ばやし保存会の皆さんには、30年以上に亘り、入間台の納涼夏祭りにご協力を頂いております。子ども達中心の「むかえばやし」から天狗の舞、獅子舞、ひょっここ踊りを鉦、太鼓、笛に合わせて披露して頂きました。入間台のお母さんや子ども達も保存会に入って、活躍されているんですよ。ご声援よろしく。

◆筋肉隆々 迫力満点 三宅太鼓!!

お話を聞きたところでは、2000年に三宅島が噴火し、全島民が本土に避難した時に、三宅島太鼓を教わったのが始まりとの事。入間市在住の方は、野中さん親子のみで他の人達は、近隣在住だそうです。今年もスケジュールが一杯のところご出演頂きました。筋肉隆々のお兄さん達のバチ捌きは迫力がありましたね。「感動した」「よかった」との感想を多くの人からいただきました。すばらしい「三宅島太鼓」ありがとうございました。

◆何時までもお元気で踊ってネ!!

今年もことぶき会民踊部の皆さんには、事前に2回踊り指導をいただき有難うございました。また、新久台さくらの会踊り部の皆さんの華やかな踊りを披露していただきました。曲が進むうちに次第に踊りの輪が広がり、夏祭りを盛り上げていただきました。小さなお子さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、おばあちゃん達が踊りました。夏祭りには、踊りがないと寂しいですね。何時までも元気で踊り続けて、夏祭りを盛り上げていただきたいと思います。



【ぼくもあたしも ワッショイ ワッショイ】



【30本の花火が一齐に花が咲く】



【いつも軽快な天狗の舞 そして ひょっここ踊り ありがとう】



【かき氷美味しいかな】



【縮ちゃん達も負けずに ワッショイ】



【線香花火 うまく火がついたかな】



【迫力満点の三宅島太鼓】



【いーそ その調子 踊って】

2016入間台納涼夏祭りを終えて

夏祭り実行委員長 岡田 文美

トントコトントコト

龍円寺から聞こえる祭囃子の練習の音。あーもうすぐ夏だな。夏を感じ始めた6月半ば。入間台納涼祭の実行委員会が、立ち上がった。右も左も解らないまま始まった実行委員会。そんな私が、何と実行委員長?! 務まるか! そんな思いでスタートをきった。今まで、仕事に追われ自治会のことは、殆どノータッチであった私にとって初めての夏祭り。初の実行委員長でありながら、ちなみに持病で、体調も悪い。参った。久々に憂鬱で弱音を吐きそうになった。何から初めて良いか解らない私に「さて、夏祭りの引き継ぎをしようか」そっと手を差し伸べてくださった元事務局局長池田さん。とても、細やかなところまで、気を配ってくださる方。去年の祭の様子を写真に納めた資料まで用意してくれていた。そのおかげで全体のイメージが掴めた。後は、祭まで細かい準備をするだけ。

私達事務局7名で、来賓の準備。祭の準備にはじめて関わるひとばかりだった。最初はバタバタ。祭の粗品。来賓用のお礼の品。祭の景品。皆で、話し合い決定。そうと決まれば、事務局の皆様は凄いのがあり、あっと言う間に作業もおわった。事務局の皆様協力が必要になせない業でした。

そして、天王祭から始まり今回の納涼祭で、人一倍お世話になったのが、結城会長の奥様。増田さんの奥様。根津様の奥様方である。おんぶに抱っこで、祭の全ての手料理を一気に引き受けてくださった。

元事務局長の根津夫人には、来賓用の品の交渉や人脈ネットワークを駆使した、地域の方からの協力を力を貸してくださいました。普段、何の騒ぎもなく静かな住宅街ですが、結束ある自治会だなぁと改めて感じた一瞬でした。櫓、ポール建て、ポール周りの円などの配置図面。祭当日に使用する、機材を車を出して取りに行ってください増田さんのご主人。各サークルを中心とした、模擬店。こういった方々の縁の下の協力なくして、今回の納涼祭は成功しなかったと思います。子供花火など、昨年と違った試みも好評だったこと。また、事故、ケガがなく無事に祭りを終えられたこと。皆様に感謝いたします。ご協力ありがとうございました。



【最後は、木槍でしまったね お疲れさまでした】

